

小学生の部

最優秀賞

赤松始「コケの森」

森に足を踏み入れ、青々と茂る緑とコケの美しさに感動した様子を書いてくれました。コケ、木、水がそれぞれつながり合って屋久島の森はできていることがよくわかります。

自然は人間も含めた多くの生き物がつながってできています。そうしたつながりをこれからも大切にし、残していくためには何ができるのか、これからもよく考えてほしいとおもいます。

優秀賞

し水一花「森は楽しい」

屋久杉ランドでの森林教室での楽しい思い出を、感性豊かに表現してくれました。

長い年月をかけて成長する木々や、コケのやわらかな様子がよく伝わります。

森での楽しい活動の裏にあるし尿処理などの課題についても気がつき、自分たちにできることを考えてくれました。1人1人の行動で、森の美しさも楽しい思い出も守っていくことができることを改めて感じさせられました。

川上聖龍「屋久島の魅力更新」

悠久の時をかけて続いてきた屋久島の森の雄大さがよく伝わってきます。

「森の切り株更新」と「おばあちゃんの話」を通じて、人も森も過去から未来へ受け継がれていく事に気がつき、そのつながりを大切にしたいと感じた気持ちが伝わってきます。屋久島が誇る雄大な歴史を知り、その魅力を後世に残していきたいと、そう思わせてくれる文でした。

中学生の部

最優秀賞

江川星子「守り続けたい登山道」

登山道を整備した経験から感じたことや、山や登山道への見方が変わったことを書いてくれました。楽しい森でのレクリエーションを裏方で支えている人たちの大切さがよくわかります。環境保全は理念だけでなく、実際に行動し経験することがとても大切です。これからも多くのことを経験し、環境保全の重要性を、実感をもって伝えていってほしいと思います。

優秀賞

佐々木 唯人 「この自然とともに」

友人たちと白谷雲水峡を登った経験を通じ、1人ではわからない景色や考え方に気がつけたことを書いてくれました。白谷雲水峡でのレクリエーションが、楽しい思い出になるだけでなく、人としての成長の糧となったことが良くわかりました。自然の中での活動が、より多くの人のためになるよう、これからも環境保全に尽力していきたいと思わせてくれました。

中島佑季「出会い生まれる考え」

大川の滝の美しさ、荘厳さ、ごうごうと流れおちる迫力を臨場感いっぱい表現してくれました。ご家族の皆さんが団らんとした様子から、滝の迫力に圧倒されていく様子がよく伝わります。屋久島での生活で感じた自然の美しさ、荘厳さをぜひ大切に、後世へ残していってほしいと思います。